

「学びの循環がある 地域社会をめざして」



「つなぐ、つどろ、支える 学びの循環」



羽生市社会教育委員
埼玉県家庭教育アドバイザー

齋藤きよみ

I はじめに

(1) 羽生市の概況(平成28年12月1日現在)

- * 総面積 58.64km²
- * 人口 55,470人
- * 世帯数 22,325世帯
- * 学びの場・・・小中学校14校・高校・短大・公民館9館・
図書館・郷土資料館・市体育館
パープル羽生・ワークヒルズ羽生・
保健センター



活力に満ちたひとと輝く文化都市



Ⅱ「学びの循環」とは？

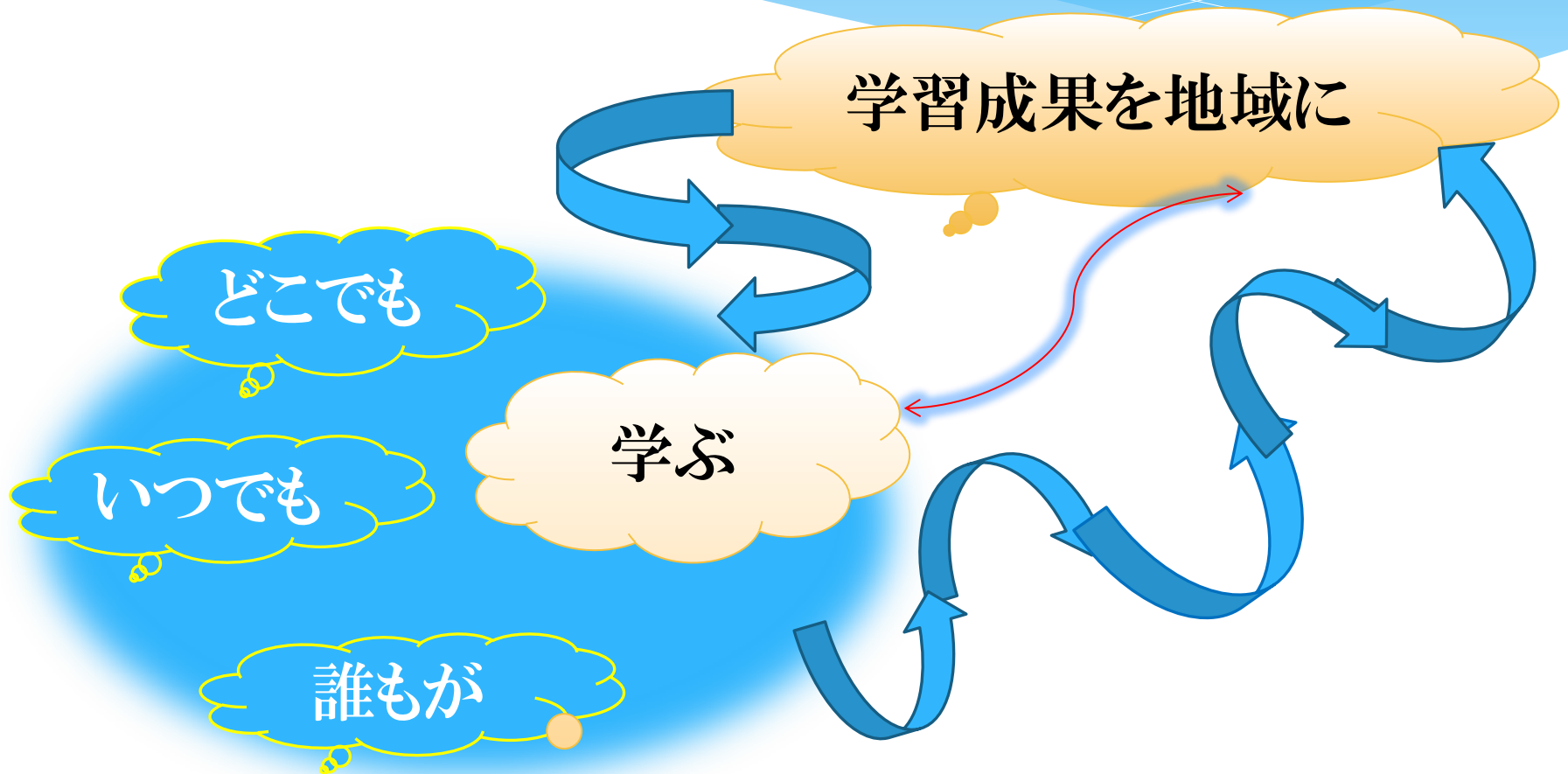
学びの始まり



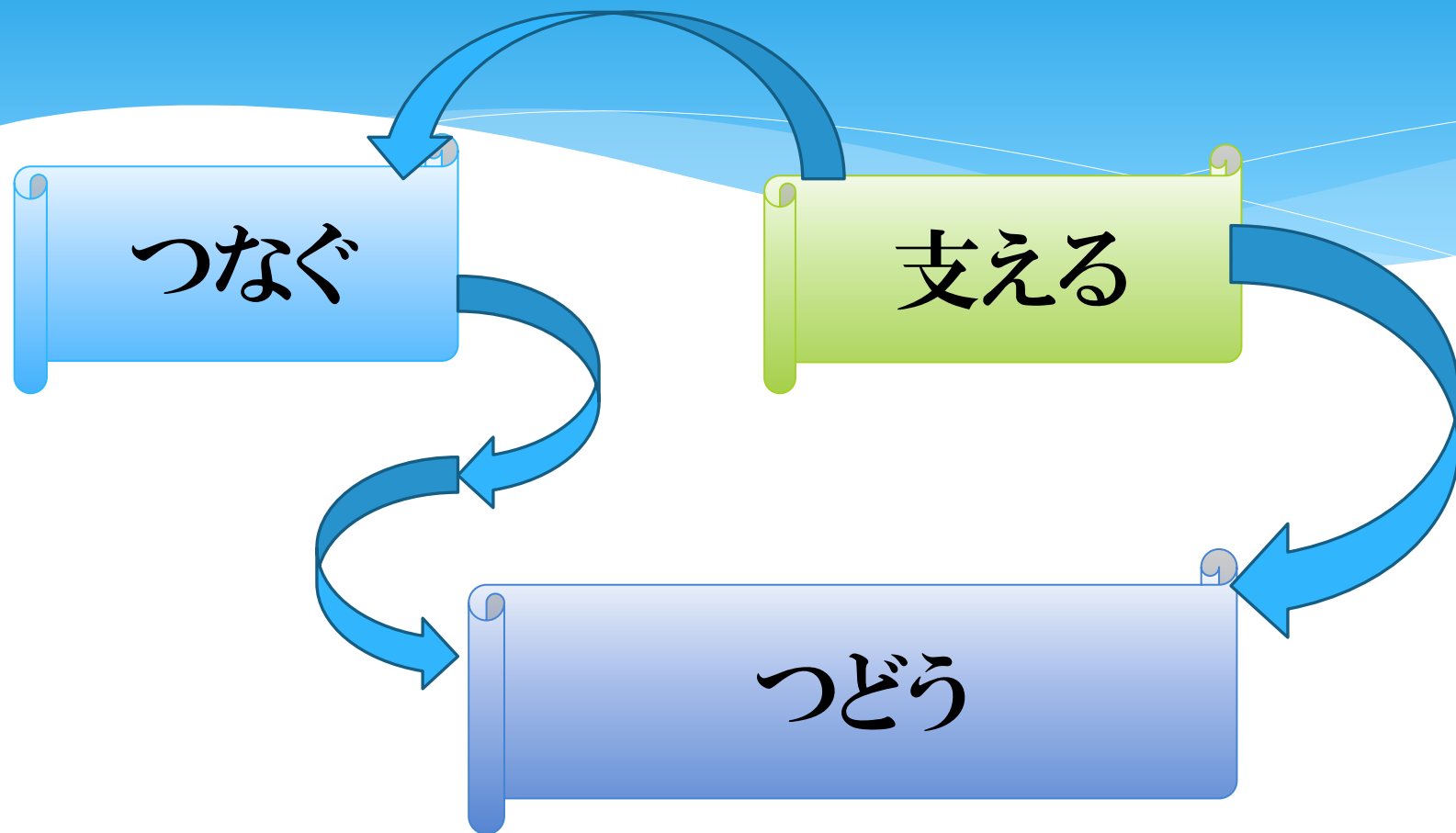
個人の学びが周囲を巻き込む

学びの成果を地域に還元

羽生市では生涯学習の推進と 文化活動の活性化に努めている



Ⅲ「学び」の循環の実践



1実践

(1) つどう、かかわる、支える、学ぶ

NPO法人子育てキャロットの取り組み

夏休み子どもクールシェア・親の学習

(2) 学び、伝え、つなげる

宮澤章二顕彰会の取り組み

(3) 伝え、つなぐ、学ぶ

図書館・資料館の取り組み

(4) その他

(1) つどろ、かかわる、支える、学ぶ 夏休み子どもクールシェアの取り組み

○地域の豊かなつながり、子どもたちが健やかに成長することを地域社会全体で支える学びの社会づくり、子どもへの学習支援



夏休みキャロットルーム

①夏休み子どもクールシェア

ア 目的

夏休み子どもたちがつどう場所を提供し、夏休みの学習の手助けをしたり、手作りの昼食を用意することによって、子どもたちの健全な育成に資すると共に地球温暖化対策のクールシェアにも取り組む。

夏季の気温の高い時期に、子どもたちが一つの場所に集まることでクールシェアを実現し、また自主的に仲間づくりができるよう支援する。

共働き・ひとり親家庭が増えつつある状況の中で、夏休みに地域で子どもたちを見守り、支援する活動を行う。

イ 内容

- 夏休み中の学習支援
- 手作りランチ
- 読書・室内でできる遊び・読み聞かせ 等

ウ 日時 8月17日(水)・18日(木)・19日(金)
午前10時～午後3時

エ 場所 羽生市中央公民館(4階多目的室)

オ 対象児童 小学校1年生～6年生までの児童50名
(羽生北小学校区・羽生南小学校区)

カ 1日のスケジュール

午前10時～午前11時50分「学習タイム」

夏休みの宿題や家庭学習に取り組む

午後0時～午後1時 「ランチタイム」

午後1時～午後3時 「リラックスタイム」

読書・室内でできる遊び・読み聞かせ 等

キ その他 ランチタイムは食改・キャロットスタッフによる調理。
子どもたちがにぎやかに楽しく食事ができるように工夫されています。
お越しただけのことが事前に分かれば準備いたしますので、是非お寄りください。

協力団体や大学への支援募集



子育て応援

夏休みキャロットルーム クールシェア

☆ボランティア募集☆

日時： 8月17日(水)・18(木)・19(金)

午前10時～午後3時

場所： 羽生市中央公民館

募集人数： 1日3名

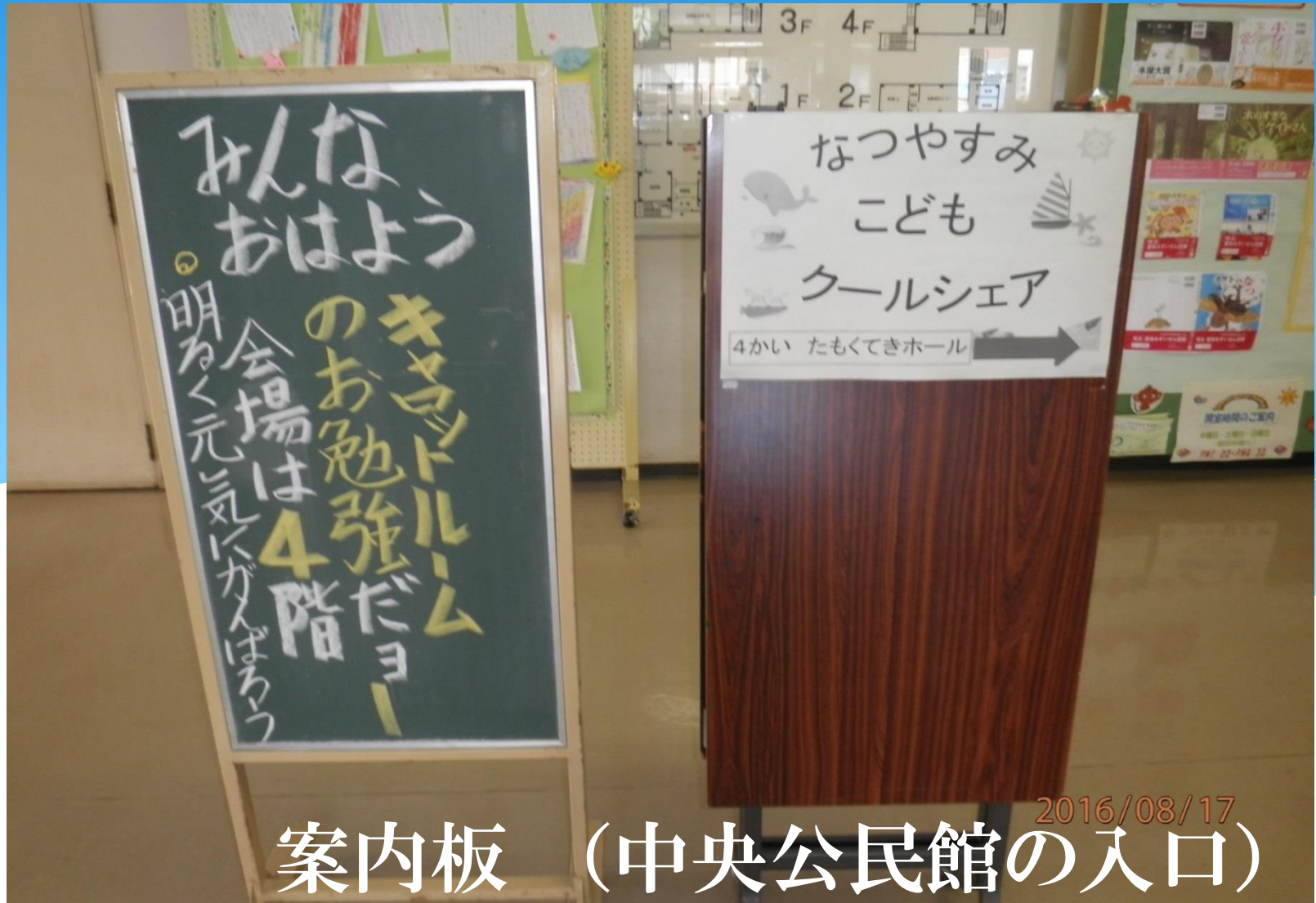
公民館と共催で各種団体に協力を依頼

羽生地区食生活改善普及推進員協議会
羽生地区更生保護女性会
埼玉純真短期大学地域連携ボランティア
中央公民館図書ボランティア
民生委員・児童委員
青少年育成推進協議会
ハーモニカクラブ 等

「夏休み子どもクールシェア」 事業推進会議

- 5月11日 開催案内発送
- 6月 3日 推進会議
- 6月23日 開催案内発送
- 7月28日 推進会議
- 8月31日 反省会開催案内発送
- 9月11日 反省会

夏休み子どもクールシェア 8月17日～19日



案内板 (中央公民館の入口)

受付の様子(ボランティアの短大生)



2016/08/17

クールシェア開会式



学習タイムの様子



献立

8月17日(水)
*ふきよせおやこどん
*ポテトサラダ
*スイカ



8月18日(木)

*冷やしうどん
*野菜かき揚げ・磯辺揚げ
*みかん入り牛乳寒天



8月19日(金)
*夏野菜カレー
*チキンかつ
*野菜サラダ



昼食の様子(食を楽しみ、学ぶ)



歯みがきをしよう



リラックスタイム (かかわり)



②親の学習

NPO法人羽生子育て サポートキャロット





グループで
意見交換

(2) 学び・伝え・つなげる

宮澤章二顕彰会の取り組み

- ① 宮澤章二先生の詩を読み合い、学び合う。
(毎月第2水曜日午後1時30分～3時30分)
- ② 学校へ出前授業で宮澤章二先生の詩を紹介し、読み合い、つなげる。
(夏休みのサマースクール・授業・朝の時間帯等)
- ③ 宮澤章二作品を学び、朗読発表会で詩を読み合い、伝え、つなげる。
- ④ 宮澤章二顕彰会だよりの発行(毎月)

行為の意味

行為の意味

宮沢章二



—あなたのへこころはどんな形ですか
とひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にもへこころは見えな
けれどほんとうには見えないのであろうか

確かにへこころはだれにも見えな
けれどへこころづかいは見えるのだ
それは人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中のへこころは見えな
けれどへこころづかいは見える
それも人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心があたたかい行為になり
やさしい思いがやさしい行為になるとき
へこころへこころづかい初めて美しく生きる
—それは人が人として生きる、とだ

宮澤章二 記念館

宮澤章二先生は詩人や作詞家として全国的に有名です。「彌勒」で生まれました。



宮澤章二先生の作品

宮澤先生の御写真

A display board for Miyazawa Akira's works. At the top, a colorful paper garland hangs across the board. On the left, a scroll contains a calligraphic poem:

花重る 登りて
別れ行く門出の
思ひ出は胸にあふれて
なつかしき わが師、わが友
村正利 昭和 宮澤章二

In the center, a newspaper clipping titled "花重る" (Flowers are heavy) is displayed. Below it, a poem is written:

花重る 昭和十八年作
作詞 宮澤章二
作曲 下村操二

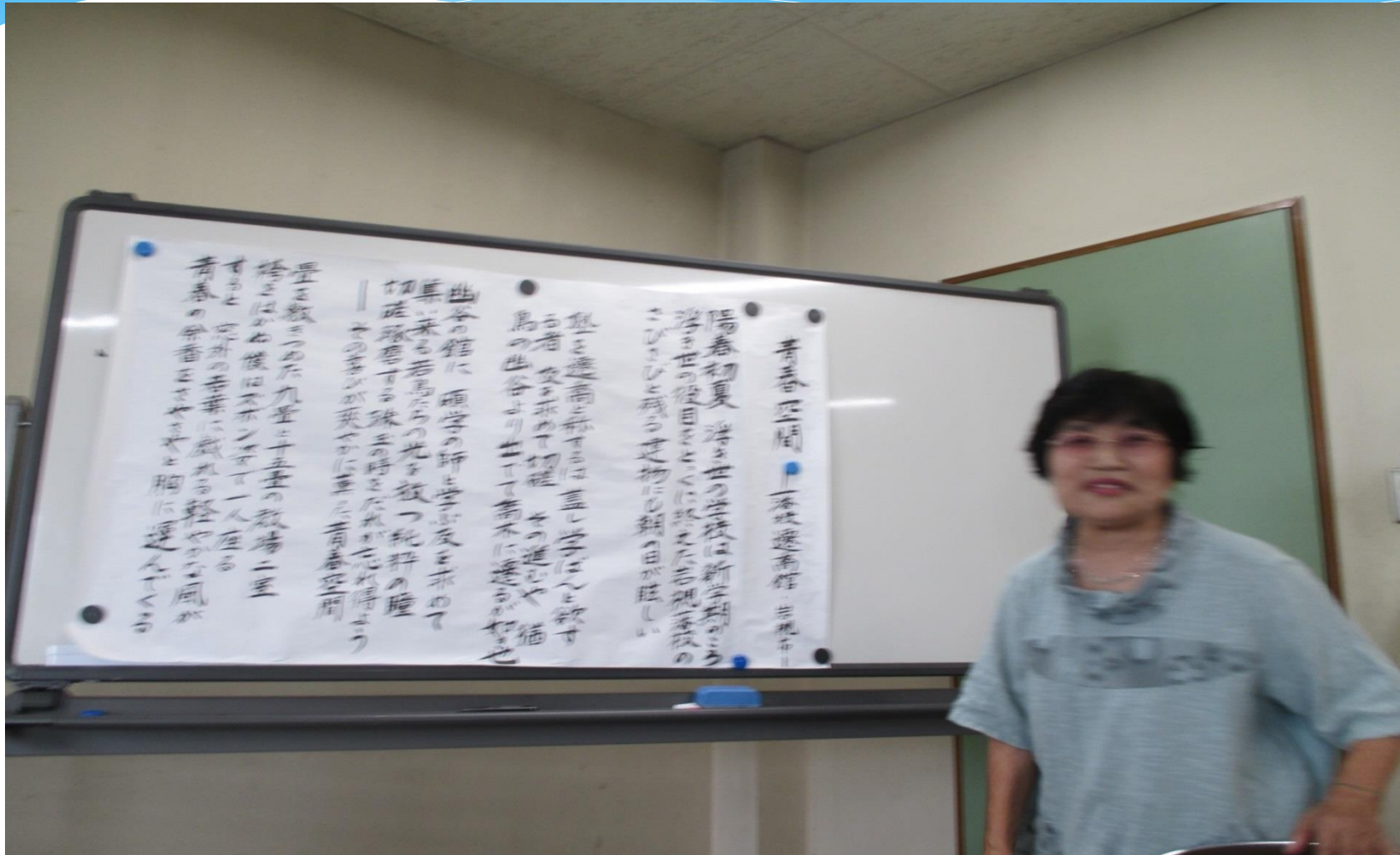
一 花重る 歩むの庭に
別れ行く門出の思ひ
思ひ出は胸にあふれて
なつかしき わが師、わが友

二 風まさる ゆくへの道も
望みもち たゆまじ常て
あたたかき教え守りて
みだおわれ 国へつぐせん

On the right, a black and white photograph shows Miyazawa Akira standing outdoors. To its right is a framed portrait of him. Below the photograph is another newspaper clipping titled "甦る卒業の歌" (The song of graduation revives).



①宮澤章二先生の詩を 毎月みんなで読み合う





②学校への出前授業(伝える、学ぶ)



5年生へ出前授業



自分の考えを 発表し合う



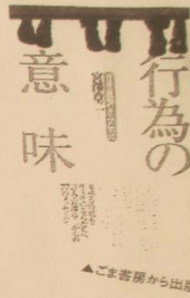
③宮澤章二作品朗読発表会

風と光の詩人

第2回 宮澤章二作品朗読会



宮澤 章二氏
羽生市立郷土資料館提供



と き 平成 29 年 2 月 1 8 日 (土) 午後 1 時 30 分 ~ 3 時 30 分

場 所 市民プラザ 2 階 大会議室

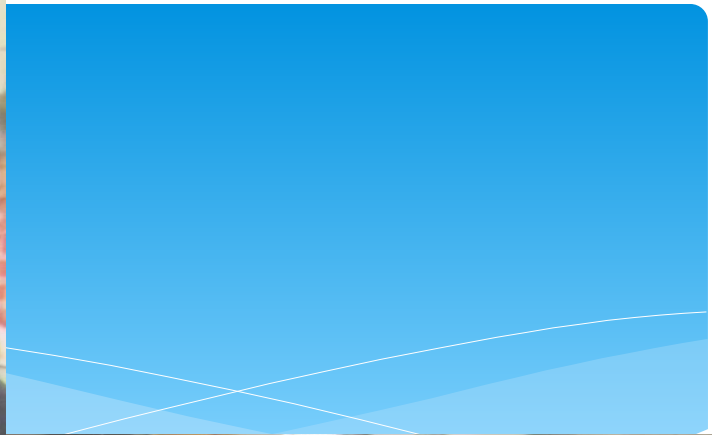
第 1 部 … 市内小中学生による宮澤章二作品朗読 28 名

第 2 部 … 一般市民による宮澤章二作品朗読 10 名

宮澤章二先生を顕彰する会の年間活動発表



宮澤章二先生は皆さんご存じの羽生市出身の詩人です。羽生市内の小・中学校はもと
国で 300 校以上の校歌を作詞されています。詩集「埼玉風物詩集」他 16 冊 詩論「
の人生」童謡詩集「知らない子」他 2 冊 合唱組曲の作詞 17 曲 絵本・日本の神話 7



④宮澤章二顕彰会だよりの発行(毎月)

- * 宮澤章二先生を顕彰する会だより H29, 1
- * 1月定例会では下記の詩を読み合いました。宮澤先生
のふるさとへの思い、心にふれあったように感じました。
紹介します。
- * また、2月18日(土)に宮澤章二作品 詩の朗読会を開
催することについて話し合いました。宮澤新樹氏に「宮
澤章二先生の新たな世界～ラジオ歌謡～」について講
演を頂きます。場所は市民プラザ羽生、時間は13時30
分～15時30分入場無料です。是非お出かけください。お
待ちしています。……………
- * <一部を提示>

(3) 伝え、つなぐ、学ぶ

羽生市立郷土資料館の取り組み

①企画展

- 「埼玉の自然をのぞいてみよう」
- 「郷土資料館30周年を振り返る」
- 「収蔵資料展」

②開館30周年記念図書館郷土資料館まつり

～高齢者の知恵と学びを伝える～

③郷土の文化と歴史

- 田舎教師
- 清水卯三郎
- 社寺調査 他

①企画展示の様子



②開館30周年記念図書館・郷土資料館まつり

紙コップでお相撲さんをつくるよ。それで遊ぶよ



さあ、勝負だよ
負けないぞ。

作り方は……



CDこまはここに
絵を描くよ



あやとりって
楽しい…

どちらが勝つか
な……



羽生の昔がたり
楽しいね。



4 その他



IVまとめ

- 1 学び、伝え、つなぐ、かかわり、支え方はいろいろある。
- 2 未来を担う子どもたちへ学んだことや文化をどうつなげるのか機会の設定と押しつけにならないことが大事である。
- 3 一人学びからグループ学びへ、そして行政の支えがあるとより広がっていく。
- 4 高齢者の持つ知恵の生かし方でまちが元気になる。
- 5 つどい、かかわりにより人とつながりが深まっていく。

ご清聴ありがとうございました

